

# 石産協通信

sekisankyo tsuushin

## 第30号

発行日:2013年9月15日《隔月15日発行》



一般社団法人

日本石材産業協会

The Japan Stone Industry Association

東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階  
Tel.03-3251-7671 Fax.03-3251-7681  
<http://www.japan-stone.org/>  
企画・編集・発行:広報委員会

# 『お墓参りの日』秋分の日に制定

暮らしを豊かにしたいなら「忙しい」を言い訳にせず、  
ぜひお墓参りを……。

(社)日本石材産業協会 会長 <sup>い ば かつ ゆき</sup> 射場一之

**み** なさん、こんにちは。「猛暑」と呼ばれる今年の夏ですが、いかがお過ごしでしたか？

私は「お盆」という言葉の響きに、とても懐かしくあたたかなものを感じるのですが、みなさんはいかがでしょうか？ 射場石利石材では「喜びでお客さまとつながる」ことをとても大切にしています。そして今年は「お墓参りを通して、お客さまと共に最高の喜びを創る」ことをテーマとしています。そのテーマのもと、日本人の伝統的で美しい先祖観と、先祖供養の意味（「おかげさま」や「ありがとう」という「報恩」の気持ち）を知り、「家族の絆の大切さ」や「家族・人の死」に対する敬虔な気持ちを育んでもらおうと、春分の日につき、お盆前の8月4日（日）に、「お盆」という行事のもつ様々な意味を学ぶ市民向けの学習会を開催しました。

さて、みなさんにとっての、一番古いお墓参りの記憶はいつ頃でしょうか……？ 私にとってのそれは今ひとつ定かではありませんが、幼稚園か、ひょっとしたら幼稚園に入る前のことかもしれません。祖母とその何人かの友人と、片道30分ほどの道のりを歩いて、時々、お墓参りに行っていました。祖父は両親が結婚する前に亡くなっているので、私は会ったことがありませんが、お参りをしながら、その祖父や曾祖父の話を祖母が話してくれたのをうっすらと覚えています。

本年度私は、石産協の対外的な重点活動の第1に『「お墓参りの習慣のある暮らしの豊かさ」と「身近に石のある環境の豊かさ」の発信』を掲げていますが、私がお墓参りの習慣のある暮らしの豊かさに気付いたのは、小学生の時ではなかったかと思えます。野球を始めてから日課にしていた朝のジョギングの途中で、ある時からわが家のお墓に寄るようになりました。きっかけは覚えていません。おそらく、ただの気まぐれだったように思います。それはジョギングをはじめて数ヶ月経った頃か、それとも数年経ってからのことだったのかその記憶も曖昧ですが、ある日突然、（上手く言葉にできないのですが）心の深いところからプラスの感情が徐々に湧いてくるようになりました。その感情は日によって違いました。ある時は大きな安心感だったり、またある時はその時の自分を取り巻く環境がとてもありがたく思えたり……。

そのジョギングの習慣は今も続いています。墓参りが目的かジョギングが目的かと問われると大きな顔はできませんが、それでも1週間に4～5回はわ

が家のお墓に足を運んでいることとなります。もっともそれが、「お墓」に携わる者として、多いか少ないかはわかりませんが……。

ところで、みなさんは「国民の祝日に関する法律」というものをご存知でしょうか？

その第1条にはこうあります。「自由と平和を求めてやまない日本国民は、美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築きあげるために、ここに国民こぞつて祝い、感謝し、又は記念する日を定め、これを『国民の祝日』と名づける」と。

さらに第2条では、お彼岸の中日である春分の日と秋分の日をそれぞれ「自然をたたえ、生物をいつくしむ」日、「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ」日と定めています。

そこでこの度石産協では、秋分の日を「お墓参りの日」として制定（日本記念日協会に登録）いたしました。

私は建碑法要の時、お客様にこのようなお話をさせていただきます。

——親しさゆえに甘え、犠牲にしがちなのが家族です。しかし、家族をおろそかにしては何事もうまくいきません。家族がいる自分があることを忘れないために、お墓参りをしてください。お正月、お彼岸、お盆、命日はもちろん、何でもない日にもまめに足を運ばれることをお勧めします。先祖がいたからこそ家族も自分も生まれてきたのです。感謝し、敬って当然です。暮らしを豊かにしたいなら「忙しい」を言い訳にせず、ぜひお墓参りをなさってください——と。

石産協——墓石部会の最大の使命は、お墓参りがもたらす笑顔をとくさん作ることです。そのためには、心の豊かさや毎日の充実感につながるお墓が持つ意味を掘り起こし、「お墓を建てて、先祖を供養する」ということがいかなる理由にのっとなって行われるものであり、今後の人生においてどのような意味を持っていくのか」ということを、会員の一人ひとりが、自分の体験と言葉で語ってゆかねばならないのではないのでしょうか——。



連載

# 全国縦断支部紹介

## 静岡県支部

静岡市



支部長  
加藤 敏章

支部設立 2002年  
人口 375万人 男:185万人 女:189万人  
65歳以上が人口に占める割合:24.1%  
世帯数 146万世帯  
人口密度 478人/1km<sup>2</sup>  
総面積 7,780km<sup>2</sup>  
なんでも マグロ消費量:全国1位  
ランキング Jリーガー出身地:全国1位  
製造業従業者数:全国1位



[県章]

- Q.1 最近ハマっているものはなんですか?  
小学生の頃は食べられなかったチーズが好きになり、いつもいろんな種類のチーズを買ってくる。が、名前を覚えなくて同じようなチーズを何度も買ってくる事。
- Q.2 必ず毎日行う事はなんですか?  
特になし
- Q.3 大好きなお酒とおつまみ(ごはんのおかずでもいいです)を教えてください。  
アサヒスーパードライの黒といろんなチーズ。
- Q.4 地域の特産物 おすすめの一品を紹介してください。  
掛川と言ったらお茶でしょ。
- Q.5 おすすめの観光地はどこですか。  
四月の第一金土日に掛川市横須賀地区で行う三熊野神社大祭。地元の祭りですが以前、神田にも行ったり、江戸開府400年記念祭にも招待されました。
- Q.6 趣味・好きな言葉・愛読書は?  
趣味…落語鑑賞(古典は立川談志、新作は笑福亭昇太が好き)読書(暇があれば本を読む)  
愛読書…逆説の日本史シリーズ(井沢元彦)流れよ我が涙、と警官は言った(フリップ・K・ディック)等  
好きな言葉…急がば回れ
- Q.7 もし今のお仕事でなかったらどんな職業につきたかったか教えてください。  
国宝・重要文化財を修理する人。  
昔の技術を今の技術で修理する事に興味がある。
- Q.8 支部内の銘石を自慢してください。  
地元掛川市山崎地区にある撰要寺。  
歴代城主の宝篋印塔、家来の五輪塔など多数あり。
- Q.9 支部の活動を教えてください。  
毎年「お墓相談室」を開催しています。他には不定期ですが講演会、勉強会等も行っていきます。また、今後各委員会を立ち上げたいと思っています。
- Q.10 支部員のユニークの方を紹介してください。  
会員の皆さん一人一人が個性があり一口では言い表せません。もっともっと沢山の会員の皆さんと親交を深めていきたいと思っています。

## 京都府支部

京都市



支部長  
新谷 嘉啓

支部設立 2004年1月  
人口 254万人 男:122万人 女:132万人  
65歳以上が人口に占める割合:23.7%  
世帯数 113万世帯  
人口密度 569人/1km<sup>2</sup>  
総面積 4,613km<sup>2</sup>  
なんでも パン消費量:全国1位  
ランキング 大学進学率:全国1位  
現役医師数:全国1位



[府章]

- Q.1 最近ハマっているものはなんですか?  
ライブや演劇鑑賞
- Q.2 必ず毎日行う事はなんですか?  
以前は愛犬の散歩だったんですが…今はもっぱら晩酌です。
- Q.3 大好きなお酒とおつまみ(ごはんのおかずでもいいです)を教えてください。  
ビールは外せませんが、何でも好きです。
- Q.4 地域の特産物 おすすめの一品を紹介してください。  
筍、京野菜、日本酒(近頃筍の焼酎も有るそう)
- Q.5 おすすめの観光地はどこですか。  
清水寺・高台寺・八坂神社・東山地区だけでもキリがないですが、シーズンオフの静かな時期が良いのでは。
- Q.6 趣味・好きな言葉・愛読書は?  
趣味…ビンテージのギターを眺めて一人でニヤニヤ  
愛読書…最近では東野圭吾くわいてす。  
好きな言葉…志
- Q.7 もし今のお仕事でなかったらどんな職業につきたかったか教えてください。  
ギター作りに携わりたかったです。
- Q.8 支部内の銘石を自慢してください。  
鞍馬石、白川石
- Q.9 支部の活動を教えてください。  
近畿地区大会では沢山の方々へ京都へお越し頂き、本当にありがとうございました!
- Q.10 支部員のホープの方を紹介してください。  
ご存知! 水野充弘さん 発想豊かで行動力もあり頼れる兄貴です。  
芳村 敦さん 地区大会では大いに力を発揮してくれました。  
経験も豊富で何でもこなせる逸材です。(次期支部長候補…)

## 会員支援グッズ絶賛発売中!!

先日会員支援グッズ注文書をお送りしましたが、ご覧いただけましたでしょうか。石産協の知名度を上げるためには会員一人ひとりの協力が必要です。ぜひ、ご活用いただき、石産協マークが安心と信頼の証となるよう広くPRしていただきたいと思います。[広報委員会]

家族の絆をはぐくむ“石の力”。安心と信頼のJSIAマーク



一般社団法人  
日本石材産業協会  
The Japan Stone Industry Association

加盟店

[www.japan-stone.org/](http://www.japan-stone.org/)

- ◎のぼり ¥1,000/1枚 自動車用マグネット
- ◎自動車用マグネット ¥1,200/1枚
- ◎Let'sお墓参りシール ¥300/1セット(100ピース)



# 九州・沖縄地区全体会議開催のご案内

2013年11月13日(水)・14日(木) 福岡県福岡市博多区にて

暑い暑い今年の夏です。

私共 石産協福岡県支部は、九州・沖縄地区全体会議を11月13日開催します。

会議のホスト支部として、「九州・沖縄はひとつ!!」を合言葉に鋭意準備中です。

他地区より1周遅れで頑張っていますが、中身のあるもの、

会員の相互交流、共感を柱に企画しています。全体会議、懇親会、翌日のエクスカージョンまで博多の魅力を、

多くの会員の皆様に味わっていただきたく実行委員一同、心よりお待ちしております。[実行委員長 国松良康]

※詳細案内を同封します。



九州・沖縄地区実行委員の皆さま

# 近畿地区全体会議開催 日本三大祭の一つ 祇園祭にあわせ京都で

2013年7月14日(土)・15日(日) からすま京都ホテルにて

「祭りの最中に祀りを考える」をテーマに近畿地区全体会議がからすま京都ホテルで開催されました。岸田近畿地区長の開催宣言で幕開けした初日は、射場会長の挨拶、近畿地区各支部の活動報告、部会・委員会活動報告が行われました。そして大会企画の目玉と言える日本のご当地お墓!!「お墓のケンミンSHOW」では全国から16名のパネラーが登場し、事前アンケートで回答された25の内容を各県代表者が他県に負けじと写真などで説明しました。パネラーの解説は、国産材と外国材比率や顧客に薦める石種とその理由など真面目な話や、引き渡し時や施工時にご祝儀はいただくか? またその金額はいくらか? などの生々しい話題もあり、集まったそれぞれの石材業界人から各県の特徴やヒミツが自慢されました。

その後、第2部では京都ならではのしきたり? 京都市清酒普及促進に関する条例に基づいた京都「伏見の清酒」で乾杯される懇親会が開催され、京都支部メンバーによる生バンド演奏が披露されました。

翌日は京都ならではの企画、「城マニアと行く絶頂期の築城技術と装飾意匠の二条城見学」と「東本願寺門前、老舗念珠店九代目が教える念珠作り体験と東本願寺渉成園の拝観」の2コースが用意され約20名が参加しました。

数か月前から企画と準備に追われ、充実の2日間を遂行した実行委員会の皆さま、大変ご苦労さまでした。[広報委員会 永谷吉局]



全国からのパネラー

**新入会員紹介**

会員数:1,279名  
(2013.8.29現在)

**茨城県**

 延島庄也石材店  
会員代表:延島利和  
設立:昭和40年  
業種:墓石・加工

**群馬県**

 (株)ストーンウッド  
会員代表:木間光弘  
設立:平成18年  
業種:関連

**東京都**

 (株)ギブリー  
会員代表:中村裕貴  
設立:平成21年  
業種:関連

**愛知県**

 (株)中部石工  
会員代表:村上義宏  
設立:平成24年  
業種:加工

**大阪府**

 (株)上西石材  
会員代表:上西学  
設立:明治35年  
業種:墓石

**島根県**

 (有)リョウワ  
会員代表:小林啓吾  
設立:平成10年  
業種:墓石

石産協通信は地区支部、部会、委員会の活動を紹介し、会員の皆様のお役にたてるようなメディアを目指します。ぜひ、様々な事業に参加して会員メリットを見つけてください。新規会員も随時募集しています。入会パンフレットなど資料請求は事務局まで。

## TOPICS 石産協発信!『お墓参りの日』記念日制定されました。

日本にはご先祖様の霊をお迎えする「お盆」や先祖を敬い亡き人を偲ぶ日として「春秋の彼岸」があります。地域様々な様式ですが、日本の歴史と風土が育んできた尊い風習です。こうした先祖代々に手を合わせる日本らしい文化を絶やすことなく未来へつなげていきたいという願いをこめて石産協発信!『お墓参りの日』を記念日申請し、制定されました。

お盆は地域によって月日が異なり、春分の日は自然を慈しむ日とされています。秋分の日は先祖を敬う日として国民の休日にも制定されているため、「秋分の日」を『お墓参りの日』として登録しました。

そこで、この度『お墓参りの日』のポスターを作成しましたので同封いたします。また、今回販売がスタートしました会員グッズ(P2参照)でもお墓参り促進のためのツールがありますので名刺や印刷物などにご活用いただき、PRにご協力をお願いいたします。[広報委員会]



写真(左):Let'sお墓参りシール (右):記念日認定証書



## 石産協協賛 支部活動

### ◆香川県支部『むれ源平石あかりロード』

2013年8月3日(土)~9月16日(祝・月)

よーけの皆さまのお陰さんで今年もスタートした「むれ源平石あかりロード2013」、9回目になる今回も瀬戸内島あかりウォーターランド、石あかりワンダーランド、あかりの芸術ルーチェアルテ、マロンエイトキッズタウンなどの企画展示や、JAPAN石あかりコンテスト、石あかりライブ、レムジアショー、写し絵ラリー、作って歩こうMy提灯、手作り石あかり工房等など、もおエーからゆうぐらい、よーけの企画やっています。そしてホンマ嬉しいことに、この大灼熱地獄にもかかわらずよーけの来場者で今年も石あかりロードは笑顔でいっぱいやー。香川県支部も毎年恒例のポケットティッシュ配って「お墓参りをしようキャンペーン」やっとなるし、私もねじり鉢巻でどろどろになって「石あかりガイド」を石の伝道師として頑張っとなるでー。そういうことでとにかく石あかりロードは皆さんにとって色んなヒントがあるんで来たことない人は9月16日までしよるけんいっぺん来まい。

[四国地区長(むれ源平石あかりロード実行委員会) 岡本俊之]



夕闇に映える水面のあかり

### ◆奈良県支部『なら燈花会』 2013年8月5日(月)~14日(水)

ろうそくのともしびが奈良公園一帯に幻想的な夏の夜を醸し出す『なら燈花会』に奈良県支部として石あかりの小徑を出展しました。延べ90万人を超える来場者でにぎわうイベントです。ろうそくの灯りと趣異なる石あかりに「石屋さんてスゴイ!」「こんなまで石でできるんや。」などの声が聞こえ、石産協の広告効果も抜群だったと思います。今年は準備不足でしたが次回への課題もでき支部活動の意欲も一層増しました。この様子はYoutubeでもご覧いただけます。ぜひ、アクセスしてください!

[奈良県支部長 池淵順幸]

<http://www.youtube.com/watch?v=UmUBvbnCE08>





# 役員候補者管理委員会が発足

2014・2015年度役員候補者管理委員会が発足された日から約1か月間の立候補期間を経て、提出された立候補者を第2回理事会(10月3日)に上程します。その後新人事が決まるまで、5名の委員メンバーが務めます。

- 委員長 香川県／(有)庵治石彫工房 太田明彦(写真前中)
- 副委員長 埼玉県／(株)やまと石材 丹田益生(写真後左)
- 委員 福島県／八巻石材工業(株) 八巻伸広(写真前左)
- 委員 静岡県／(有)山岸石材店 山岸弘幸(写真前右)
- 委員 大阪府／(株)河波忠兵衛関西 河波好宏(写真後右)



# 2014・2015年度会長立候補者 所信

氏名：射場一之 いばかつゆき

- 1. 本会は、個人的利益を追求する団体ではなく圧力団体でもない。石材産業の健全な発展を通じた社会貢献こそが、本会の「原点」であり「目的」である。
- 1. 健全な発展とは、石材産業を“人々をより幸福にする営み”とすることである。
- 1. 本会の社会貢献とは、「お墓参りの習慣のある暮らし」と「身近に石材のある環境」の豊かさの発信を通して、現代の消費者の望む「心の豊かさ」や「毎日の精神的充足感」の実現を支援することである。
- 1. 本会は、会員だけの繁栄を求めるのではなく、知恵を出し合い、協力し、助け合って、世のため人のため、そして石材産業に携わるすべての人々の幸せのために、単独ではできない活動を共に創りあげていく。それが本会設立の精神である。
- 1. 本会は、より大きな組織を目指すのではなく、より良い組織を目指す。
- 1. 本会において問われるべきは志である。同じ志を持つ者は何人たりとも排除されるべきではない。
- 1. 何人も、権力や名誉を求めて本会を利用してはならない。
- 1. 本会は、石材産業に関係する様々な立場の人たちで構成された「日本石材産業協会」である。

## 新フェア実行委員募集!!

新フェア実行委員会がかねてから企画を進めてまいりました『NIPPON石博(いしはく)』を2014年3月8日(土)9日(日)東京都立上野恩賜公園にて行うことが決定しました。イベントを一緒に成功へと導く強力な実行委員メンバーを募集しています。自薦他薦問いません、ご協力お願いいたします。(詳しくは事務局まで)



新フェア実行委員長 二上昌弘

## 事業案内 2013 9月~11月

石産協の行事はgoogleカレンダーにて公開しています。支部の活動などもご覧いただけますので是非ご活用ください。URLは石産協ホームページの新着情報からご確認ください。  
 会員限定閲覧ページ ID:2013/パスワード:2013

9月23日(祝・月)  
**秋分の日**  
**『お墓参りの日』**

10月5日(土)  
**建築石材アドバイザー及び  
 建築石材シニアアドバイザー試験**

10月3日(木)  
**第2回理事会 東京**

11月1日(金) 青年石材人交流会 in いばらき  
 11月13日(水) 九州・沖縄地区全体会議

## お墓ディレクターNEWS

# 『地元へ帰ろう! お墓ディレクター』\('jjj')/

### 2013年7月13日(土) 岡山県井原市にて「終活フェア」開催。

ここ数年話題となっている「終活」。日々の仕事の中でお客様の相談や要望にお答えしてきたことが「終活」に繋がっていたと確信し、その「終活」をお墓ディレクター1級取得者として、どうにか形にできないかと試行錯誤していました。

そんな折、2月に行われたお墓ディレクター1級取得者研修会のテーマ“終活”がきっかけとなり「終活フェア」を開催する計画がスタートしました。そして、“終活を通じて地域の活性化につなげていこう”という趣旨のもと、他業種の方々とも協力し、岡山県井原地区では初となる「いかさ終活フェア」を実現することが出来ました。マスコミへのプレスリリース配信やfacebookを活用した告知と、手配りのチラシが功を奏し、50名定員の会場がほぼ満席となりました。イベントは、終活カウンセラーによる特別講演、介護・保険・相続・年金・お墓の専門家による相談、入棺体験、地産地消の健康茶、プロによるメイク・肖像写真撮影などのコーナーで楽しみながら「終活」を体験してもらいました。ご家族やお友達同士での参加が多く、会場はアットホームな雰囲気にもまれ、参加者から「参加して本当に良かった。知人を誘いたいので次回の案内もお願いします。」という喜びの言葉を沢山いただき、次回への大きな励みになりました。今後も終活セミナーなどを開催しながら活動を続け、地域の活性化とお墓ディレクターとしての知識の向上を目指します。[お墓ディレクター委員会 小野純子]



相談コーナー



肖像写真撮影前メイク中

## 《お知らせ》協会名を騙る業者への対応についてのご報告

先日、非会員である事業者が協会名を騙り営業活動を行っていることが判明しました。協会としての対応の経過をご報告いたします。

経緯: 1. 2013年8月某日、一般の方から協会お墓相談電話に連絡が入る。

内容)ある業者から墓石の営業を受けているが、名刺に「日本石材産業協会認定」と記載されている。実際に加盟している方が調べて欲しい。

2. 調べた結果、協会員ではなくお墓ディレクターも取得していないことが判明。

3. 即座に顧問弁護士の戸部先生に相談し、この業者への警告となる通知書作成を依頼。

4. 8月23日 弁護士を介し、内容証明郵便を送付。

5. 9月2日本人より弁護士を通じ謝罪文が提出された。

会員の皆さまへ情報を共有すると共に、今後似たような事例や情報がございましたら協会へご一報くださいますようお願い申し上げます。

## NEWS

# お墓物語 第二集 編集中

お墓物語第二集発刊にあたり、非常に多くの反響があり、230通を超える感動のエピソードが寄せられました。現在、研修委員会では33作品に厳選し、編集作業を行っています。皆さまのお手元にお届けできる日が決まりましたら改めてご報告いたします。楽しみにお待ちしております。

[研修委員会 山口康二]



## 編集後記

[広報委員会 元内隆文]

夏日猛暑日、お客様から「お盆に向けて建墓に傾注している墓石店の方々の姿には、格別の尊さを感じますね。」とお話がありました。猛暑の中での重労働、それ以上にお墓を開眼供養に導く一生懸命さに、思わずそう言っていたのだと思います。きっとその時お客様のお墓に対する思いは、亡くなった方への思いと石材店の方々への感謝の気持ちで一杯であったと思います。

石材店の仕事は、人と人との絆を強くし、先祖への感謝の気持ちを呼び起こす感動の仕事です。今号でも、支部地区での感動のご活躍を紹介させていただきました。その活動が共通した墓石への思い入れとなり『お墓参り』推進への原動力となって墓石業界の需要創造につながっていきます。射場一之会長指導の下『お墓参りの日』が、秋分の日に制定され、日本国民1億2千万人が、『お墓参り』を日常的な習慣としようとするよい環境ができてきました。

広報委員会では、この『お墓参りキャンペーン』をバックアップしています。名刺に『Let'sお墓参り』キャンペーンシールを貼ってください。「お墓参りにいきましょう。そこで手を合わせてみてください。」とお客様にメッセージをおくりましょう。

皆さまのご意見を 石産協事務局[広報委員会]宛  
お聞かせください。 E-mail office@japan-stone.org  
お待ちしております。 Fax.03-3251-7681